corega

Wireless Dock for iPod

CG-WLIPODCGW/B セットアップガイド

このたびは、「Wireless Dock for iPod CG-WLIPODCGW/B」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。このセットアップガイドをお読みになり、正しい設置・操作を行ってください。また、お読みになった後も大切に保管してください。

●同梱物

下記のものが入っていることを確認してください。

- □ Wireless Dock for iPod CG-WLIPODCGW または CG-WLIPODCGB 本体
- □ AC アダプタ
- □ Dock アダプタ（5種類）
- □ オーディオケーブル
- □ Wireless Dock Setup CD（設定ユーティリティ、取扱説明書）
- □ セットアップガイド（本書）
- □ 保証書

●対応OS

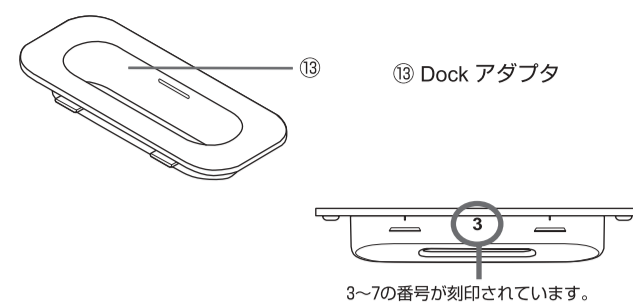
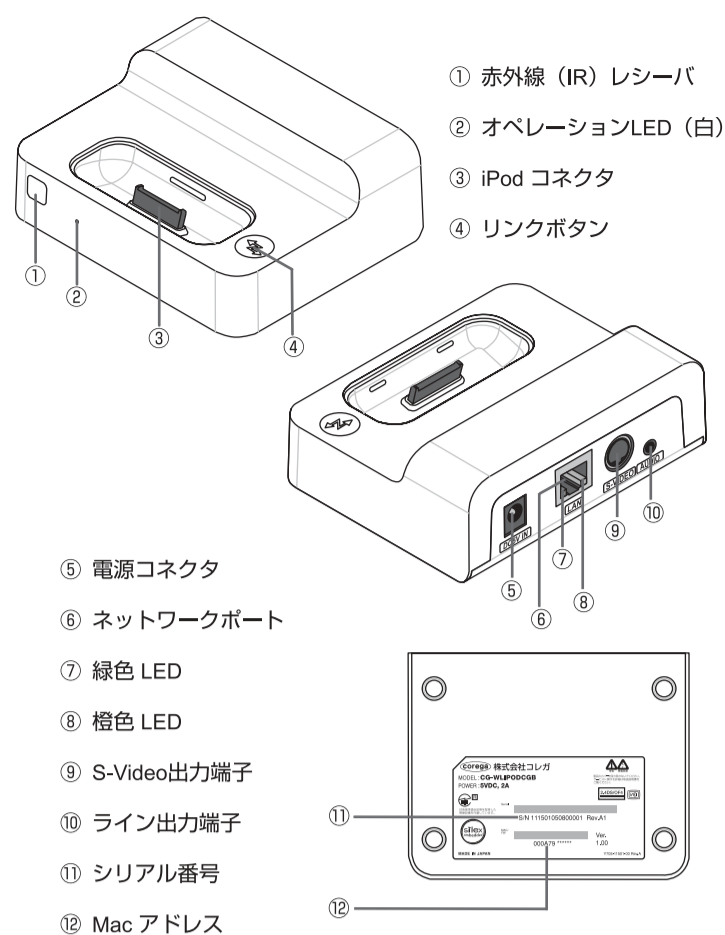
Windows XP、Windows 2000
Mac OS X（Ver.10.4.3 〜）：Intel版
Mac OS X（Ver.10.2.7 〜）：PowerPC版

※最新対応OSについては、弊社ホームページをご覧ください。

各部の名称

① 赤外線（IR）レシーバ
② オペレーションLED（白）
③ iPod コネクタ
④ リンクボタン
⑤ 電源コネクタ
⑥ ネットワークポート
⑦ 緑色 LED
⑧ 橙色 LED
⑨ S-Video出力端子
⑩ ライン出力端子
⑪ シリアル番号
⑫ Mac アドレス

⑬ Dock アダプタ

3〜7の番号が刻印されています。

各種 iPod に対応したDock アダプタが5種類用意されています。ご使用の iPod にあったDock アダプタをお選びください。

番号	iPod の種類	
3	iPod mini	4GB / 6GB
4	iPod	20GB/ U2 Special Edition
5		40GB
6	カラーディスプレイ付き iPod	20GB / 30GB / U2 Special Edition
7		40GB / 60GB

※iPod nano と第５世代 iPod モデルの Dock アダプタは、iPod nano、第５世代 iPod にそれぞれ同梱されています。

本商品の特長

iPod をパソコンとワイヤレスで接続

本商品は、IEEE802.11b/gに準拠した無線LANを利用し、アップルコンピュータ社のiPodをワイヤレスでシンクロすることができる多機能Dock です。
パソコンと iPod を接続するときは、本商品のリンクボタンを押すだけです。

S-Video 端子、ライン端子、Apple Remote に対応

S-Video 出力端子、ライン出力端子にも対応していますので、オーディオ機器やテレビに繋いで、家族や友達と一緒に楽しむことができます。
また、Apple Remote（アップルコンピュータ社より別売り）にも対応していますので、本商品に iPod をセットして、ホームステレオ、パワードスピーカー、またはテレビに接続しているときに、Apple Remoteを使うと、離れた場所から、ソファーに座ったままで、音楽やスライドショーなどにアクセスできます。あとは座ってゆったりと楽しむだけです。次の曲に進めたい場合にも、席を立つ必要はありません。

iPod の充電が可能

本商品に iPod をセットするだけで、iPod の充電をすることができます。（ただし、本商品の電源を入れる必要があります。）

簡単設定

本商品付属のCD-ROM に収録されているユーティリティ「Wireless Dock Setup」は、ウィザード形式の設定ユーティリティです。画面上に表示される質問に答えていくだけで、iPodを使用して商品本体の設定を簡単に行うことができます。
本商品は iPod を使用しての環境設定に対応していますので、有線LANのない環境でも、簡単に設定を行うことができます。また、本商品は有線LAN（10BASE-T/100BASE-TX）ポートも装備していますので、無線LAN環境の設定を簡単に行うことができます。

●電波に関するご注意

本商品を下記のような状況でご使用になることはおやめください。

- 心臓ペースメーカをご使用の近くで、本商品をご使用にならないでください。心臓ペースメーカに電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。
- 医療機器の近くで本商品をご使用にならないでください。医療機器に電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。
- 電子レンジの近くで、本商品をご使用にならないでください。電子レンジによって、本商品の無線通信への電磁妨害が発生します。

本商品は2.4GHz帯域の電波を使用しています。電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本商品の周波数を変更して、混信を回避してください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合などは本商品の使用を停止し、弊社サポートセンタまでお問い合わせください。

1 本商品の設定を行う前に…

本商品を無線LAN環境で使用する場合は、ご利用の環境に合わせて無線LAN設定を行う必要があります。この情報はアクセスポイントなどの通信相手機器と同じに設定する必要がありますので、事前に情報を準備してください。

※設定完了後、ネットワークケーブルを使って本商品を使用する場合は、本項目の設定をする必要はありません。

			ネットワーク設定値　メモ欄	
接続モード	「Ad-Hoc」モードと「Infrastructure」モードがあります。アクセスポイントを使用せず、本商品とパソコンを１対１で使用する場合は「Ad-Hoc」モードを使用します。アクセスポイントを経由して通信を行う場合は「Infrastructure」モードを使用します。		Ad-Hoc（ch.　）／ Infrastructure	
ESSID	無線LANに接続する機器を識別するための名前です。「SSID」と呼ばれることもあります。			
暗号化の方法（認証方式）	暗号化しない	通信データの暗号化を行いません。（この場合は事前に準備する情報はありません。）	認証方式	WEP（Open System／Shared Key）／ WPA ／ WPA2
	WEP	暗号化キー（WEPキー）を元に通信データの暗号化を行います。本商品に通信相手機器と同じ「WEPキーサイズ（64bit / 128bit）」と「WEPキー」を設定する必要があります。	WEPキーまたは共有キー	
	WPA / WPA2	暗号化キー（共有キー）を元に通信データの暗号化を行います。本商品に通信相手機器と同じ「共有キー」と「暗号化形式（TKIP / AES）」を設定する必要があります。		

2 iPod を使って本商品のネットワーク設定を行う

Wireless Dock Setup CDに収録されている設定ユーティリティを使用して、本商品にIPアドレスを設定する方法を説明します。設定はWindows環境、Macintosh環境のどちらでもできます。

※Macintosh環境で設定する場合は、裏面を参照してください。

<<< Windows環境で設定する場合 >>>

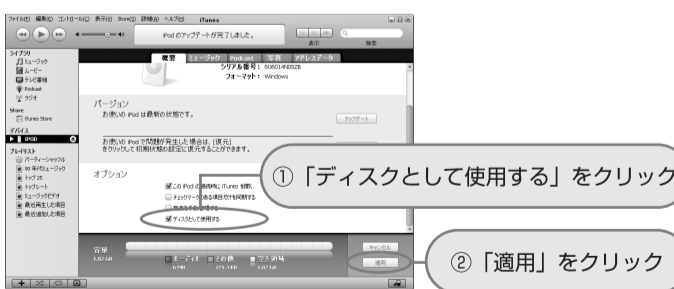
1. パソコンで、「スタート」－「コントロールパネル」－「ネットワークとインターネット設定」－「Windows ファイアウォール」－「例外」タブをクリックします。「ファイルとプリンタの共有」の項目にチェックを入れます。

2. iPod に同梱されていたUSB 2.0ケーブルを使用して、iPod をパソコンに接続します。（本商品はまだ使用しません。）

3. iPod が認識されると、iTunes が自動起動します。

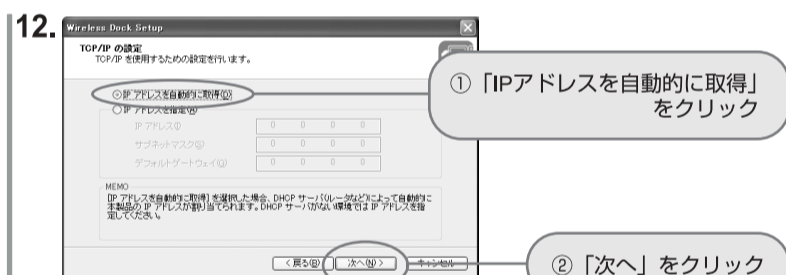
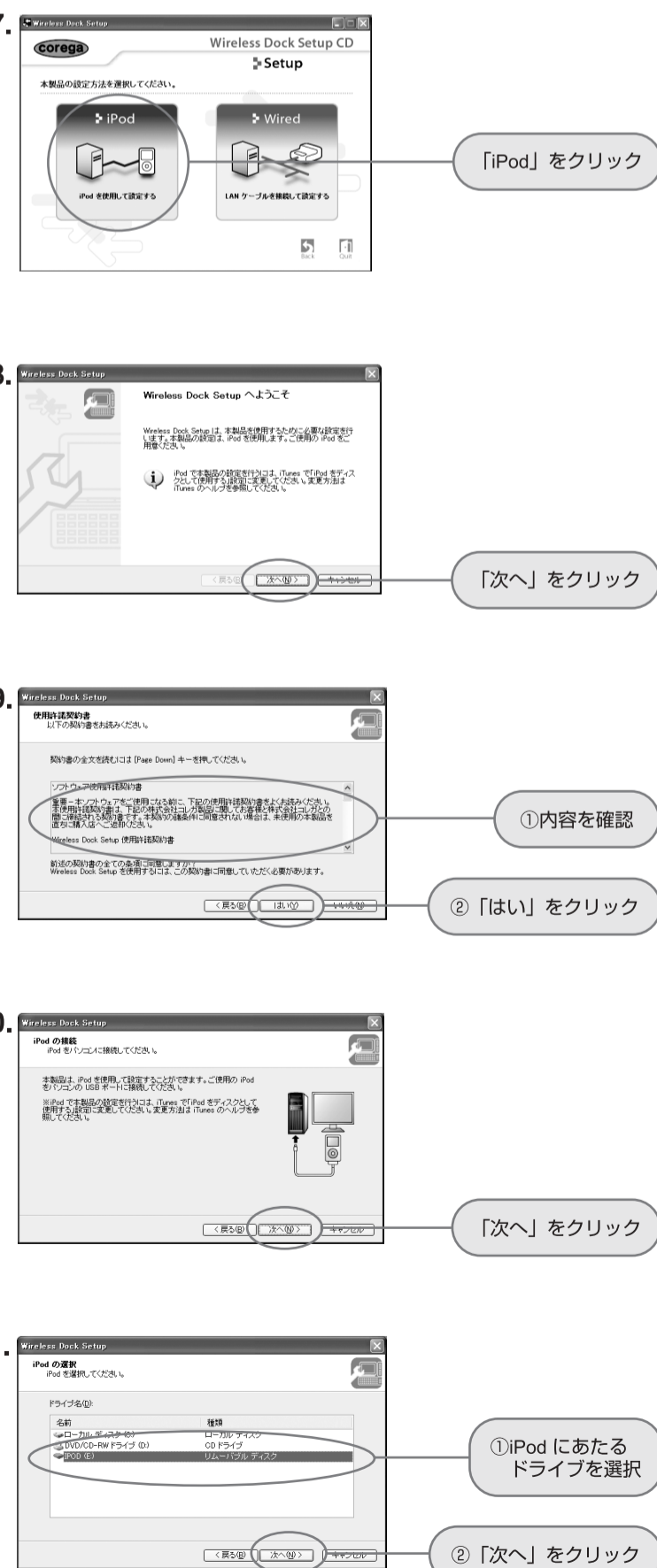
※iTunes の設定で、iTunes を自動起動しない設定にしている場合は、「スタート」－「（すべての）プログラム」－「iTunes」－「iTunes」をクリックしてください。

4. iTunes のソースリストで ご使用のiPod（デバイス）を選択して、オプションの「ディスクとして使用する」の項目にチェックを入れ、「適用」をクリックします。

①「ディスクとして使用する」をクリック
②「適用」をクリック

5. Wireless Dock Setup CD をパソコンにセットします。

6.

「Wireless Dock の設定」をクリック

※メニュー画面が自動で表示されない場合は「マイコンピュータ」のCD-ROMドライブを開いて「Autorun.exe」を実行してください。

7.

「iPod」をクリック

8.

「次へ」をクリック

9.

①内容を確認
②「はい」をクリック

10.

「次へ」をクリック

11.

①iPod にあたるドライブを選択
②「次へ」をクリック

12.

①「IPアドレスを自動的に取得」をクリック
②「次へ」をクリック

※「IPアドレスを自動的に取得」を選択するとDHCPサーバなどからIPアドレスを自動取得して使用できます。「IPアドレスを自動的に取得」の選択がない画面が表示された場合は、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力してください。（IPアドレスは必須入力項目）

13.

①無線の設定情報を入力
②「次へ」をクリック

※①で準備した無線の設定情報を入力します。
設定完了後、ネットワークケーブルを使って本商品を使用する場合は、本項目の設定をする必要はありません。

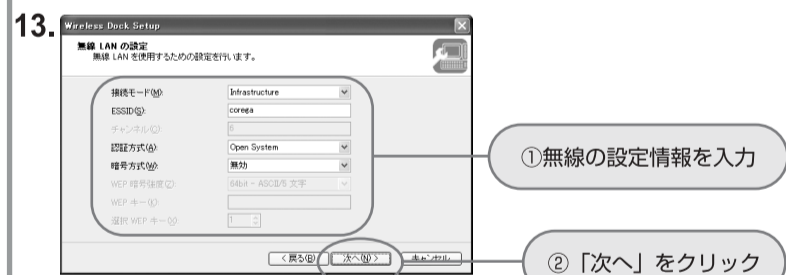
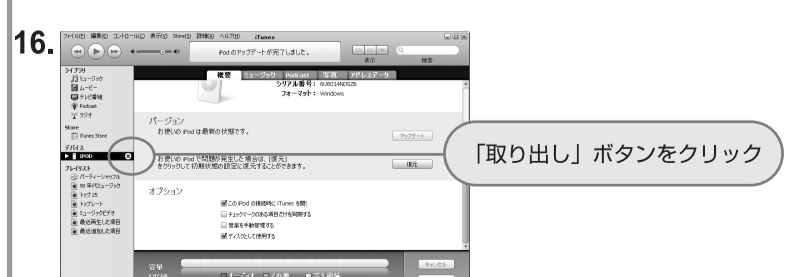
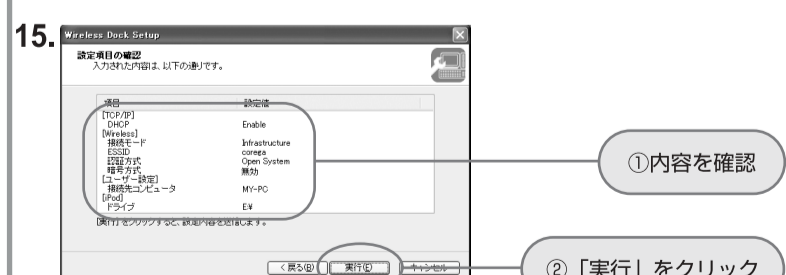
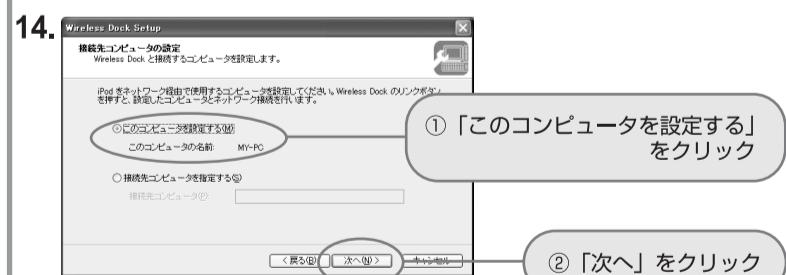
14.

①「このコンピュータを設定する」をクリック
②「次へ」をクリック

15.

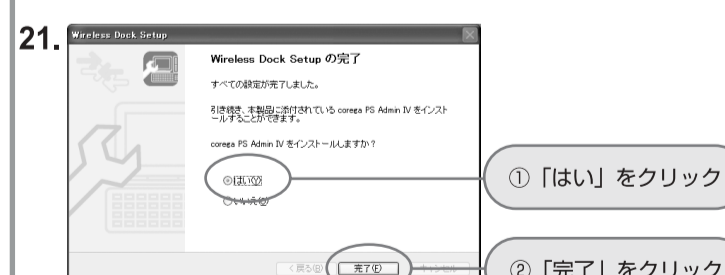
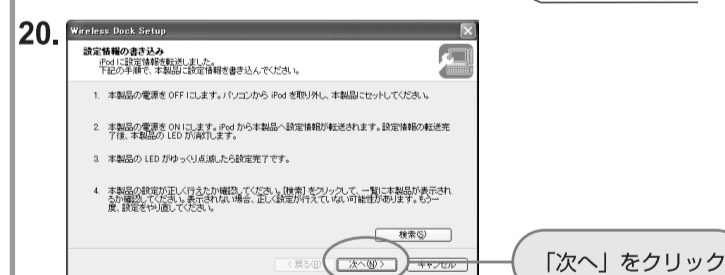
①内容を確認
②「実行」をクリック

16.

「取り出し」ボタンをクリック

17. パソコンから iPod を取り外し、本商品に iPod を接続します。

※ご使用の iPod の液晶部分に「接続を解除しないでください。」と表示されている場合は、iPod のマニュアルを参照して、iPod を正しく取り外せるようにしてください。iPod 上のファイルが壊れる可能性があります。

18. 本商品にACアダプタを接続して、電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
iPod から本商品に設定情報が転送されます。転送が完了すると本商品の前面についているオペレーションLED（白）が消灯します。

19. 本商品のオペレーションLEDが「点灯」→「消灯」→「点灯」→「ゆっくり点滅」の順序で変化します。ゆっくり点滅に変わったら設定は完了です。

20.

「次へ」をクリック

21.

①「はい」をクリック
②「完了」をクリック

※corega PS Admin IV をインストールしない場合は「いいえ」を選択してください。

本商品のネットワーク設定が完了しました

引き続き、接続ユーティリティ「corega PS Admin IV」をインストールします。インストール中、Windows XP（SP2以降）では下記のメッセージが表示されますので、「はい」をクリックしてください。

インストール方法の詳細は取扱説明書（Wireless Dock Setup CD内収録）を参照してください。

設定でお困りのときは、裏面に記載の「**商品に関するご質問は…**」を参照してください。

<<< Macintosh環境で設定する場合 >>>

※iPod のディスクフォーマットがMacintoshの場合、iPod を使用して本商品の設定を行うことができません。取扱説明書（Wireless Dock Setup CD内収録）を参照して「有線LAN経由での設定」を行ってください。（設定完了後は、無線LAN環境でご利用いただけます。）

1. コンピュータで、「アップルメニュー」－「システム環境設定」－「共有」－「サービス」タブをクリックします。「WIndows共有」の項目にチェックを入れます。

2. iPod に同梱されていたUSB 2.0ケーブルを使用して、iPod をパソコンに接続します。（本商品はまだ使用しません。）

3. iPod が認識されると、iTunes が自動起動します。

※iTunes の設定で、iTunes を自動起動しない設定にしている場合は、「Macintosh HD」－「アプリケーション」－「iTunes」を起動してください。

4. iTunes のソースリストで ご使用のiPod（デバイス）を選択して、オプションの「ディスクとして使用する」の項目にチェックを入れ、「適用」をクリックします。

5. Wireless Dock Setup CD をコンピュータにセットします。

6. CD-ROMアイコン（ ）をダブルクリックした後DSSetup（ ）をダブルクリックします。

7.

8.

9.

10.

11.

「次へ」をクリック

12.

13.

※「IPアドレスを自動的に取得」を選択するとDHCPサーバなどからIPアドレスを自動取得して使用できます。「IPアドレスを自動的に取得」の選択がない画面が表示された場合は、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力してください。（IPアドレスは必須入力項目）

14.

※①で準備した無線の設定情報を入力します。
設定完了後、ネットワークケーブルを使って本商品を使用する場合は、本項目の設定をする必要はありません。

15.

16.

17.

18. パソコンから iPod を取り外し、本商品に iPod を接続します。

※ご使用の iPod の液晶部分に「接続を解除しないでください。」と表示されている場合は、iPod のマニュアルを参照して、iPod を正しく取り外すようにしてください。iPod 上のファイルが壊れる可能性があります。

19. 本商品にACアダプタを接続して、電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
iPod から本商品に設定情報が転送されます。転送が完了すると本商品の前面についているオペレーションLED（白）が消灯します。

20. 本商品のオペレーションLEDが「点灯」→「消灯」→「点灯」→「ゆっくり点滅」の順序で変化します。
ゆっくり点滅に変わったら設定は完了です。

21.

22.

※corega PS Admin IV をインストールしない場合は「いいえ」を選択してください。

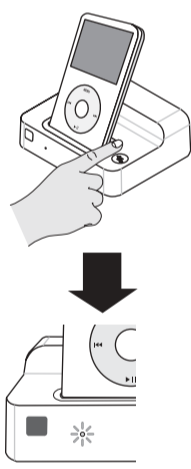
本商品のネットワーク設定が完了しました

引き続き、接続ユーティリティ「corega PS Admin IV」をインストールします。インストール完了後にパソコンを再起動しますので、パソコンで動作しているソフトウェアをすべて終了しておいてください。インストール方法については、取扱説明書（Wireless Dock Setup CD内収録）を参照してください。

設定でお困りのときは、下記に記載の「**商品に関するご質問は…**」を参照してください。

本商品を使用する

●音楽や映像を iPod にダウンロードする

本商品に iPod を接続して、音楽や映像を iPod にダウンロードする方法について説明します。

1. 本商品に iPod がセットされていて、『再生モード』で起動していることを確認します。

2. 本商品のリンクボタンを押して、『リンクモード』での接続に切り替えます。

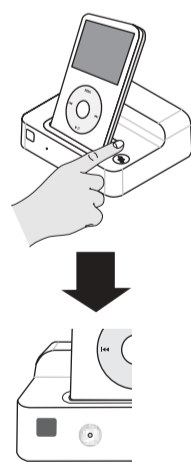
※『リンクモード』では、オペレーションLEDが点灯します。

※本商品がパソコンと接続すると、右記のウィンドウが表示されます。ディスク容量の大きい iPod をご使用の場合、iTunes の起動に時間がかかることがあります。iTunes が起動するまでそのままお待ちください。iTunes が起動すると、このウィンドウは自動的に消えます。

3. 本商品がリンクモードで動作すると、iTunes が自動起動します。

4. iPod がパソコンに直接繋がっている場合と同じように、iTunes を使用して、音楽や映像を iPod にダウンロードすることができます。

●本商品から iPod を取り外す

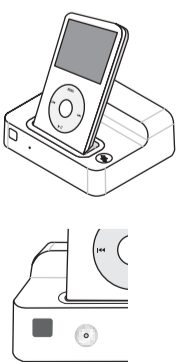
iPod へ音楽や映像のダウンロードが完了したら、以下の手順で iPod を取り外します。

1. iTunes のソースリストで、ご使用の iPod（デバイス）の横にある「取り出し」ボタンをクリックするか、または iTunes 右下の「取り出し」ボタンをクリックします。

2. 本商品のリンクボタンを押して、『再生モード』での接続に切り替えます。

※『再生モード』では、オペレーションLEDがゆっくり点滅します。

3. 本商品から iPod を取り外します。

●充電する

本商品を使用して iPod の充電をする方法について説明します。

1. 本商品に iPod がセットして、『再生モード』で起動していることを確認します。本商品に接続している間は、自動で充電されます。

※本商品から iPod を取り外す際は、本商品が再生モードであることを確認してください。
『再生モード』では、オペレーションLEDがゆっくり点滅します。

取扱説明書を参照するには…

付属のCD-ROMには、本商品の取扱説明書が収録されています。取扱説明書には、本商品の設定方法や使用方法についてのより詳しい説明、トラブル解決のヒントになる「Q&A」などが記載されています。
下記に、取扱説明書の参照方法について説明します。

<<< Windows環境で参照する場合 >>>

1. Wireless Dock Setup CDをパソコンにセットします。

2.

※メニュー画面が自動で表示されない場合は「マイコンピュータ」のCD-ROMドライブを開いて「Autorun.exe」を実行してください。

3. 取扱説明書が表示されます。

<<< Macintosh環境で参照する場合 >>>

1. Wireless Dock Setup CDをコンピュータにセットします。

2. CD-ROMアイコン（ ）をダブルクリックした後DSSetup（ ）をダブルクリックします。

3.

4. 取扱説明書が表示されます。

商品に関するご質問は…

商品のご質問はコレガサポートセンタまでお問い合わせください。

●お問い合わせ先

【coregaサポートセンタ】
「よくあるお問い合わせ」および、Mailサポートは、下記URLからお問い合わせください。

http://corega.jp/faq/
TEL：045-476-6268／FAX：045-476-6294

〈受付時間〉
10：00～12：00、13：00～18：00　月～金（祝祭日を除く）

※本商品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、日本語版のOSのみ動作を保証しています。そのため、日本語版OS以外のお問い合わせはお受けできませんのでご了承ください。
※サポートセンタへのお問合せは日本語に限らせていただきます。
This product is supported by Japanese only.
※電話が混み合っている場合は、MailサポートおよびFAXサポートをご利用ください。

おことわり

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本商品は国内仕様となっており、外国の規格などには準拠しておりません。日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

2006年11月　初版

PRINTED WITH SOYINK　R100　本書は再生紙を使用しています。